



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月12日
東・福

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所
コード番号 2924 URL <http://www.ifuji.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 宗徳
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,042	8.7	400	20.1	416	17.4	328	38.2
26年3月期第3四半期	9,240	16.2	333	△47.7	354	△47.0	237	△45.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 332百万円(37.3%) 26年3月期第3四半期 241百万円(△44.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	39.45	—
26年3月期第3四半期	28.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	9,080	4,040	44.5
26年3月期	8,044	3,816	47.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,040百万円 26年3月期 3,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成27年2月12日)公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,150	4.0	549	63.0	542	48.2	348	47.9	41.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年2月12日)公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (社名) — 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期3Q	8,345,370株	26年3月期	8,345,370株
27年3月期3Q	13,562株	26年3月期	12,847株
27年3月期3Q	8,332,197株	26年3月期3Q	8,333,858株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融及び経済政策による株価の上昇や円高の是正等により国内景気は緩やかに回復の気配が見られるものの、消費税増税に伴う個人消費の低迷や原材料価格の上昇等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費税増税や原材料価格の上昇等による様々な商品の値上げにより、消費者の生活防衛意識が強まっており、依然として予断を許さない経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業における鶏卵相場の上昇や販売価格の改定の効果等により、前年同期比8.7%増の10,042百万円となりました。

損益につきましては、鶏卵関連事業における販売価格の改定の効果等もあり、営業利益は同20.1%増の400百万円、経常利益は同17.4%増の416百万円となりました。四半期純利益は、連結子会社であった株式会社春日ビルの保有株式の全てを売却したことによる子会社株式売却益55百万円の計上等により同38.2%増の328百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、販売価格及び原料仕入価格が相場に連動して変動するものが多く、鶏卵相場が高く推移した場合は売上高、仕入高ともに増加し、低く推移した場合は売上高、仕入高ともに減少する傾向にあるため、販売価格と仕入価格の差益を一定にする努力をしております。

当セグメントの売上高につきましては、鶏卵相場（全農東京M基準値）が前年同期比9.8%（約19円）高く推移した影響や販売価格の改定の効果等により、液卵売上高は前年同期比11.1%増の8,581百万円となりました。また、加工品売上高は同6.2%減の358百万円、その他売上高は同11.6%減の187百万円となりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は同9.7%増の9,128百万円となりました。

セグメント利益につきましては、販売価格の改定の効果等による差益の確保ができたことにより、同38.5%増の333百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントの売上高につきましては、主に既存商品の販売が減少していることから、前年同期比0.6%減の883百万円となりました。

セグメント利益につきましては、主に製造ラインの変更に伴う工事費用の増加等により、前年同期比31.1%減の53百万円となりました。

③その他

当セグメントにつきましては、売上高は前年同期比2.3%減の31百万円、セグメント利益は同10.1%減の13百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は9,080百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,036百万円増加しました。

流動資産は4,852百万円となり、前連結会計年度末に比べ755百万円増加しました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加610百万円等によるものであります。

固定資産は4,228百万円となり、前連結会計年度末に比べ281百万円増加しました。主な要因は、機械装置及び運搬具の増加252百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は5,040百万円となり、前連結会計年度末に比べて812百万円増加しました。

流動負債は3,481百万円となり、前連結会計年度末に比べ715百万円増加しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の増加481百万円、未払法人税等の増加72百万円、短期借入金の減少80百万円等によるものであります。

固定負債は1,558百万円となり、前連結会計年度末に比べ97百万円増加しました。主な要因は、長期借入金の増加138百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は4,040百万円となり、前連結会計年度末に比べて223百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上328百万円及び配当金の支払い108百万円により利益剰余金が220百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の47.4%から44.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、平成27年2月12日公表の「通期業績予想の修正及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,313	1,503
受取手形及び売掛金	1,959	2,570
商品及び製品	394	470
仕掛品	41	51
原材料及び貯蔵品	294	214
繰延税金資産	15	22
その他	84	29
貸倒引当金	△5	△9
流動資産合計	4,097	4,852
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,045	1,022
機械装置及び運搬具（純額）	516	768
土地	2,069	1,986
その他（純額）	100	196
有形固定資産合計	3,732	3,974
無形固定資産	11	37
投資その他の資産		
投資有価証券	61	63
繰延税金資産	120	122
その他	33	43
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	203	216
固定資産合計	3,947	4,228
資産合計	8,044	9,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	567	1,049
短期借入金	1,702	1,622
未払法人税等	24	97
未払消費税等	2	49
賞与引当金	57	32
役員賞与引当金	—	14
その他	411	616
流動負債合計	2,766	3,481
固定負債		
長期借入金	824	963
負ののれん	18	—
長期未払金	567	567
繰延税金負債	29	1
その他	21	26
固定負債合計	1,461	1,558
負債合計	4,227	5,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,990	3,211
自己株式	△5	△5
株主資本合計	3,807	4,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	12
その他の包括利益累計額合計	8	12
純資産合計	3,816	4,040
負債純資産合計	8,044	9,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	9,240	10,042
売上原価	7,788	8,481
売上総利益	1,452	1,560
販売費及び一般管理費	1,118	1,160
営業利益	333	400
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
負ののれん償却額	18	18
受取賃貸料	4	4
その他	10	6
営業外収益合計	34	30
営業外費用		
支払利息	13	14
営業外費用合計	13	14
経常利益	354	416
特別利益		
固定資産売却益	—	1
投資有価証券売却益	—	1
子会社株式売却益	—	55
特別利益合計	—	58
特別損失		
固定資産除売却損	2	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	352	470
法人税、住民税及び事業税	85	154
法人税等調整額	28	△12
法人税等合計	114	142
少数株主損益調整前四半期純利益	237	328
少数株主利益	—	—
四半期純利益	237	328

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	237	328
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	4	3
その他の包括利益合計	4	3
四半期包括利益	241	332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	332
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,320	888	9,208	31	9,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,320	888	9,208	313	9,240
セグメント利益	240	77	318	14	333

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	318
「その他」の区分の利益	14
四半期連結損益計算書の営業利益	333

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,128	883	10,011	31	10,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	0	—	0
計	9,128	883	10,011	31	10,042
セグメント利益	333	53	387	13	400

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び太陽光発電事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	387
「その他」の区分の利益	13
四半期連結損益計算書の営業利益	400

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な資産の譲渡

当社は下記のとおり固定資産を譲渡いたしました。

1. 譲渡の理由

現在、遊休資産となっている土地について、資産の圧縮を図るため譲渡いたしました。

2. 譲渡先

譲渡先は国内の一般事業会社であります。

なお、譲渡先と当社グループとの資本関係、人的関係はありません。

3. 譲渡資産の内容

譲渡資産の種類	土地 (4,347.09㎡)
譲渡資産の所在地	福岡県糟屋郡粕屋町
現況	遊休資産

4. 譲渡の時期

譲渡日 平成27年1月21日

5. 譲渡価額

236百万円

6. 損益に与える影響

当該固定資産の譲渡により、平成27年3月期に固定資産売却益137百万円を特別利益として計上する見込みです。